

2015年3月期第3四半期報告 財務・業績の概況

①契約の状況等

		2015年3月期		2014年3月期	2014年3月期
		第3四半期	前年同期比		
新契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	242,061	+28.9	-	187,849
うち第一生命分	(百万円)	100,106	+11.4	-	89,848
うち第三分野	(百万円)	36,433	△ 1.4	-	36,954
保有契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	2,555,641	+6.1	+4.8	2,407,630
うち第一生命分	(百万円)	2,021,773	+0.1	+0.3	2,019,142
うち第三分野	(百万円)	553,088	+3.1	+2.4	536,238
連結保険料等収入	(百万円)	3,946,032	+25.1	-	3,153,491
保険料等収入(第一生命分)	(百万円)	2,316,686	+10.3	-	2,100,954
うち個人保険分野	(百万円)	1,480,859	+7.3	-	1,380,416
うち団体保険分野	(百万円)	807,460	+17.4	-	687,499
新契約高	(百万円)	4,744,910	△ 23.1	-	6,172,043
うち第一生命分	(百万円)	3,333,496	△ 37.4	-	5,326,844
保有契約高	(百万円)	137,525,277	△ 2.9	△ 1.9	141,586,925
うち第一生命分	(百万円)	132,237,039	△ 4.6	△ 3.4	138,597,369
解約・失効高	(百万円)	4,500,356	△ 5.8	-	4,777,130
うち第一生命分	(百万円)	4,290,696	△ 7.4	-	4,635,709
解約・失効率	(%)	3.20	-	-	3.32
うち第一生命分	(%)	3.13	-	-	3.27

(注)1. 保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険

※前年同期比、前年度末比は増減比率

- グループとは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd、第一生命ベトナムの5社
- 2014年11月25日に、損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命からネオファースト生命へ商号変更(社名変更)を実施
- 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)
- 保険料等収入は保険料と再保険収入の合算値(損益計算書ベースの金額)を掲載
- 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料(再保険収入は含まない)
- 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、主契約が継続している「減額」・「特約解約」を除く
- 新契約高、保有契約高、解約・失効高は第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の合算値  
第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の保険料等収入の合算値は3,737,084百万円(前年同期比増減率+24.6%)
- 解約・失効率は第一生命、第一フロンティア生命の合算値
- ネオファースト生命の新契約年換算保険料、保険料等収入、新契約高、解約・失効高は2014年7-12月の数値

②資産の状況等

(連結)

		2015年3月期		2014年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
総資産	(億円)	415,930	+10.3	377,051
実質純資産額	(億円)	92,717	+50.4	61,657
ソルベンシー・マージン比率	(%)	907.7	+150.8	756.9

(注)2015年3月期第3四半期末の実質純資産額、ソルベンシー・マージン比率については、法令等の規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出

※前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

(第一生命単体)

		2015年3月期		2014年3月期末
		第3四半期会計期間末	前年度末比	
総資産	(億円)	365,612	+7.4	340,288
実質純資産額	(億円)	89,409	+48.5	60,197
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	25.3	-	18.3
ソルベンシー・マージン比率	(%)	917.3	+145.2	772.1

(注)2015年3月期第3四半期末の実質純資産額、ソルベンシー・マージン比率については、法令等の規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出

※前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益

		2015年3月期		2014年3月期	2014年3月期
		第3四半期累計期間	前年同期比		
グループ基礎利益	(百万円)	341,743	+12.8	302,842	446,164
うち第一、第一フロンティア、ネオファースト合算値	(百万円)	325,929	+11.5	292,189	428,444
うち第一生命	(百万円)	322,098	+20.8	266,570	399,813
うち第一フロンティア生命	(百万円)	3,549	△ 86.1	25,619	28,630
うちネオファースト生命	(百万円)	282	-	-	-

(注)1. グループ基礎利益には第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の基礎利益、TAL Dai-ichi Life Australia Pty LtdのUnderlying Profit(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前四半期純利益を合算し、

第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値を掲載

2. ネオファースト生命については、2014年7-12月の数値

3. ネオファースト生命は2014年8月より第一生命グループとなったため、前年同期比ならびに2014年3月期第3四半期累計期間および2014年3月期の実績は掲載せず

④基礎利益の内訳

(第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の合算値)

		2015年3月期		2014年3月期	
		第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	2014年3月期
基礎利益 A	(百万円)	325,929	+11.5	292,189	428,444
うち最低保証に係る一般勘定責任準備金の繰入・戻入の影響 B	(百万円)	△ 1,962	-	117	△ 6,439
基礎利益(最低保証に係る一般勘定責任準備金の繰入・戻入の影響を除く) A-B	(百万円)	327,892	+12.3	292,072	434,884

(注)1. ネオファースト生命については、2014年7-12月の数値

※前年同期比は増減比率

2. 最低保証に係る一般勘定責任準備金とは、変額年金保険の最低保証リスクに対して、標準責任準備金制度の一環として積み立てているもの

最低保証に係る一般勘定責任準備金を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因に、また、最低保証に係る一般勘定責任準備金を戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になる

(第一生命単体)

		2015年3月期		2014年3月期	
		第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	2014年3月期
基礎利益 A	(百万円)	322,098	+20.8	266,570	399,813
うち最低保証に係る一般勘定責任準備金の繰入・戻入の影響 B	(百万円)	677	△58.0	1,613	1,251
基礎利益(最低保証に係る一般勘定責任準備金の繰入・戻入の影響を除く) A-B	(百万円)	321,420	+21.3	264,957	398,562

(注)最低保証に係る一般勘定責任準備金とは、変額年金保険の最低保証リスクに対して、標準責任準備金制度の一環として積み立てているもの

※前年同期比は増減比率

最低保証に係る一般勘定責任準備金を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因に、また、最低保証に係る一般勘定責任準備金を戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になる

⑤準備金

		2015年3月期		2014年3月期末	
		第3四半期会計期間末	前年度末比	第3四半期会計期間末	前年度末比
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	29,128,071	+459,895	28,668,175	
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	27,864,002	+414,539	27,449,462	
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	1,264,068	+45,356	1,218,712	
価格変動準備金	(百万円)	126,953	+10,500	116,453	
危険準備金	(百万円)	544,593	+13,500	531,093	
危険準備積立金	(百万円)	43,120	-	43,120	
価格変動積立金	(百万円)	65,000	-	65,000	

(注)第一生命の実績を掲載

※前年度末比は増減

⑥含み損益

		2015年3月期		2014年3月期末	
		第3四半期会計期間末	前年度末比	第3四半期会計期間末	前年度末比
有価証券	(百万円)	5,349,149	+2,343,484	3,005,664	
うち国内株式	(百万円)	1,518,479	+586,676	931,802	
うち国内債券	(百万円)	2,461,162	+1,079,839	1,381,322	
うち外国証券	(百万円)	1,296,018	+653,767	642,251	
不動産	(百万円)	67,229	+18,964	48,264	
その他共計	(百万円)	5,494,728	+2,444,212	3,050,515	

(注)1. 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準

※前年度末比は増減

2. 第一生命の実績を掲載

⑦資産の含み損益がゼロになる水準

		2014年12月末時点	
国内株式(日経平均)	(円)	8,800	
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	710	
国内債券	(%)	1.2	
外国証券	(円)	95	

(注)1. 株式は日経平均およびTOPIXに連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

2. 国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第一位まで算出

3. 外国証券はドル円換算にて算出

4. 第一生命の実績を掲載

⑧銀行窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

		2015年3月期		2014年3月期		
		第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	2014年3月期	
変額年金保険	新契約件数	(件)	124,101	+161.8	47,403	65,149
	金額(収入保険料)	(百万円)	716,376	+191.2	246,027	354,834
定額年金保険	新契約件数	(件)	15,133	△ 43.8	26,909	34,407
	金額(収入保険料)	(百万円)	70,277	△ 46.4	131,155	168,537

(注)銀行窓販の対象となる金融機関に証券会社を含めて掲載

※前年同期比は増減比率

		2015年3月期		2014年3月期		
		第3四半期累計期間	前年同期比	第3四半期累計期間	2014年3月期	
変額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	77	-	-	-
	金額(収入保険料)	(百万円)	983	-	-	-
定額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	66,107	+11.5	59,288	83,817
	金額(収入保険料)	(百万円)	486,633	+13.7	427,898	614,384

(注)銀行窓販の対象となる金融機関に証券会社を含めて掲載

※前年同期比は増減比率

# 2015年3月期 第3四半期決算報告

2015/2/13

第一生命保険株式会社

一生涯のパートナー

**第一生命**

- 成長分野の保険料収入が好調に推移し、連結経常収益は大幅に増加。第一生命の順ざやなど、基礎利益の改善が、連結経常利益・連結純利益の大幅増加を牽引。
- 第3四半期累計の連結純利益は通期業績予想を上回る進捗。ただし、法人税減税の決算への影響も勘案しながら、第4四半期の金融環境を見極める必要があることから、現時点では通期の業績予想を据え置き。
- 2014年12月末のグループ・エンベディッド・バリュー(試算値)は、9月末比で増加し、約5兆3,900億円に。低金利環境下においても各社のE E Vは増加。

- 好調な銀行窓販と資産運用収支の改善により、大幅な増収・増益
- 連結純利益は通期業績予想を上回る進捗

(億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計 (a)	前年同期比	
連結経常収益	44,770	53,499	+8,728	+19%
第一生命単体	32,684	34,588	+1,904	+6%
連結経常利益	2,277	2,865	+587	+26%
第一生命単体	2,338	2,803	+465	+20%
連結純利益	738	1,317	+578	+78%
第一生命単体	828	1,313	+484	+58%

2014/11/14 発表予想(b)	進捗率(a/b)
64,090	83%
44,000	79%
3,180	90%
3,100	90%
800	165%
790	166%

## ■ 保険販売の好調と、資産運用収支の改善が業績に貢献

### 連結損益計算書 (要約) (1)

(億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	増減
経常収益	44,770	53,499	+8,728
保険料等収入	31,534	39,460	+7,925
資産運用収益	10,759	11,424	+665
うち利息・配当金等収入	5,690	6,273	+582
うち有価証券売却益	1,819	1,429	389
うち特別勘定資産運用益	2,901	3,191	+289
その他経常収益	2,476	2,613	+137
経常費用	42,493	50,633	+8,140
うち保険金等支払金	21,285	24,800	+3,514
うち責任準備金等繰入額	12,311	17,421	+5,109
うち資産運用費用	1,817	1,009	808
うち有価証券売却損	491	200	291
うち有価証券評価損	8	5	2
うち金融派生商品費用	545	292	252
うち事業費	3,782	4,142	+360
経常利益	2,277	2,865	+587
特別利益	23	31	+8
特別損失	294	197	96
契約者配当準備金繰入額	702	784	+81
税金等調整前純利益	1,303	1,915	+611
法人税等合計	577	597	+20
少数株主利益(は損失)	12	0	+13
純利益	738	1,317	+578

### 連結貸借対照表 (要約)

(億円)

	14/3末	14/12末	増減
資産の部合計	377,051	415,930	+38,878
うち現預金・コール	10,613	16,556	+5,942
うち買入金銭債権	2,818	2,750	67
うち有価証券	312,035	343,139	+31,103
うち貸付金	30,247	30,481	+234
うち有形固定資産	12,158	11,946	212
うち繰延税金資産	57	13	44
負債の部合計	357,575	382,274	+24,699
うち保険契約準備金	333,275	350,719	+17,443
うち責任準備金	325,749	342,868	+17,119
うち退職給付に係る負債	3,854	3,750	103
うち価格変動準備金	1,181	1,300	+119
うち繰延税金負債	151	4,376	+4,225
純資産の部合計	19,476	33,655	+14,179
うち株主資本合計	6,285	10,183	+3,898
うちその他の包括利益累計額合計	13,184	23,463	+10,279
うちその他有価証券評価差額金	13,227	22,862	+9,635
うち土地再評価差額金	383	385	2

(1) 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益には影響するものではありません

# 第一生命グループ業績 - グループ各社の業績

一生涯のパートナー

第一生命

	【第一生命】			【第一フロンティア生命】			【豪TAL】 <sup>(1)</sup>			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万豪ドル)			(億円)		
	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	前年 同期比	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	前年 同期比	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	前年 同期比	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益	32,684	34,588	+6%	10,364	16,877	+63%	2,062	2,362	+15%	44,770	53,499	+19%
保険料等収入	21,009	23,166	+10%	8,990	14,185	+58%	1,688	2,067	+23%	31,534	39,460	+25%
資産運用収益	9,295	8,852	5%	1,374	2,692	+96%	244	193	21%	10,759	11,424	+6%
経常費用	30,346	31,785	+5%	10,489	16,953	+62%	1,976	2,212	+12%	42,493	50,633	+19%
保険金等支払金	17,792	19,797	+11%	2,499	3,677	+47%	1,153	1,355	+18%	21,285	24,800	+17%
責任準備金等繰入額	4,822	4,800	0%	7,254	12,421	+71%	333	313	6%	12,311	17,421	+42%
資産運用費用	1,546	1,201	22%	360	71	80%	24	28	+17%	1,817	1,009	44%
事業費	3,025	2,926	3%	339	703	+107%	401	433	+8%	3,782	4,142	+10%
経常利益(は損失)	2,338	2,803	+20%	124	75	--	85	150	+75%	2,277	2,865	+26%
特別利益	23	29	+24%	--	--	--	--	--	--	23	31	+36%
特別損失	289	183	37%	5	14	+160%	--	--	--	294	197	33%
少数株主利益(は損失)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	12	0	--
純利益(は損失)	828	1,313	+58%	130	90	--	52	109	+111%	738	1,317	+78%

(1) 豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

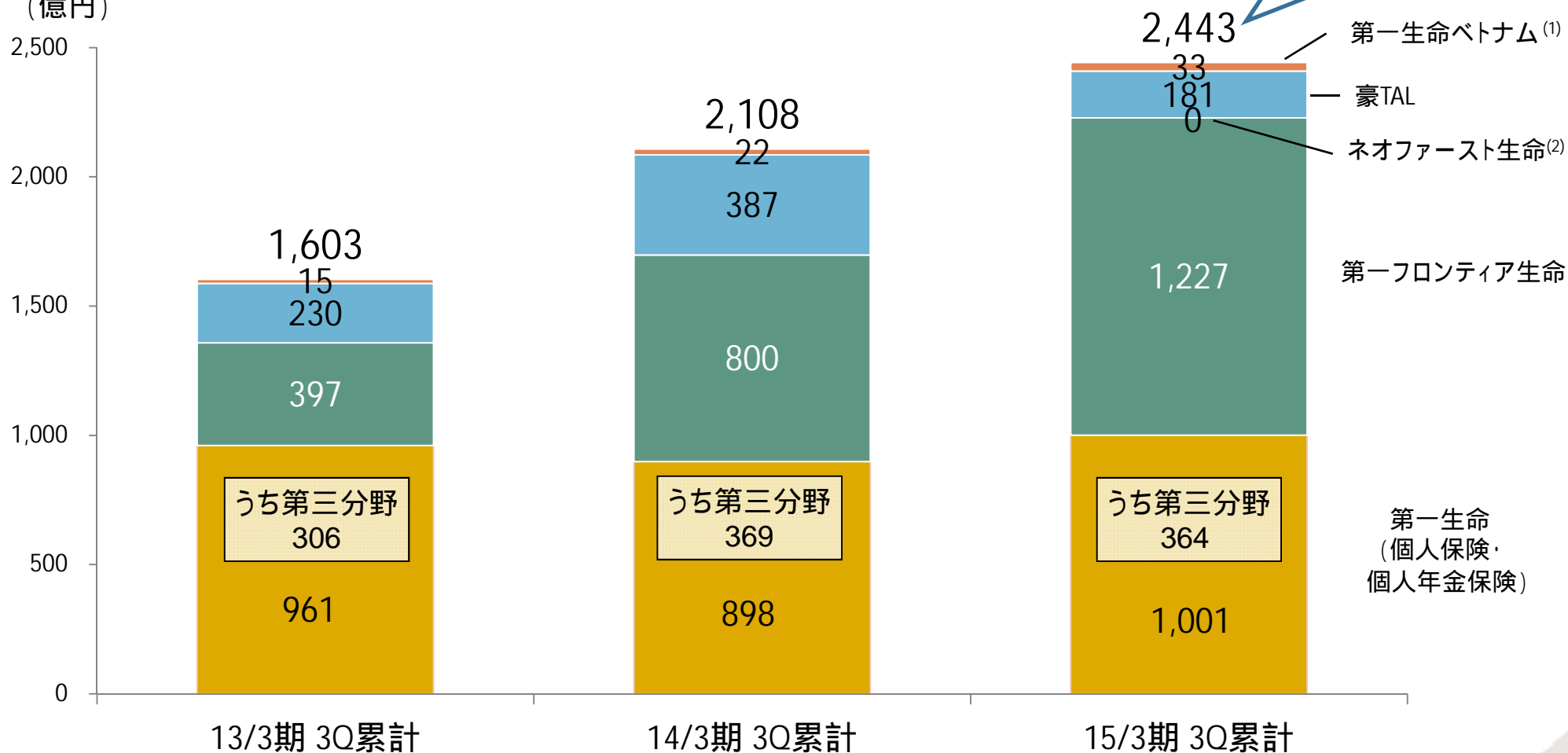
# 第一生命グループ業績 - 新契約動向(年換算保険料ベース)

一生のパートナー

第一生命

## 第一生命グループの新契約年換算保険料

(億円)



(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

(2) ネオファースト生命の実績は、15/3期2Q・3Q(7-12月)のみを記載しています。

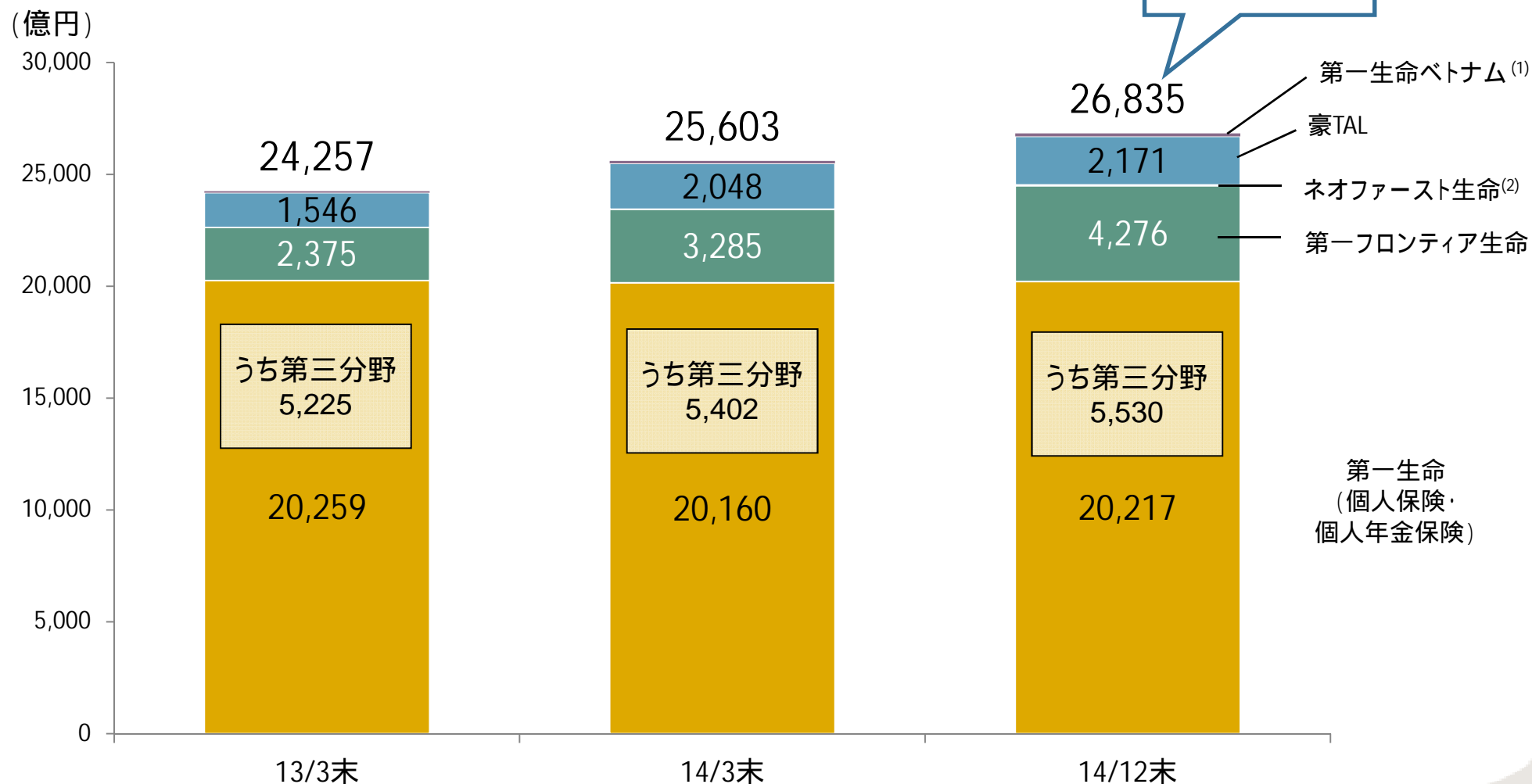


# 第一生命グループ業績 - 保有契約動向(年換算保険料ベース)

一生涯のパートナー

第一生命

## 第一生命グループの保有契約年換算保険料

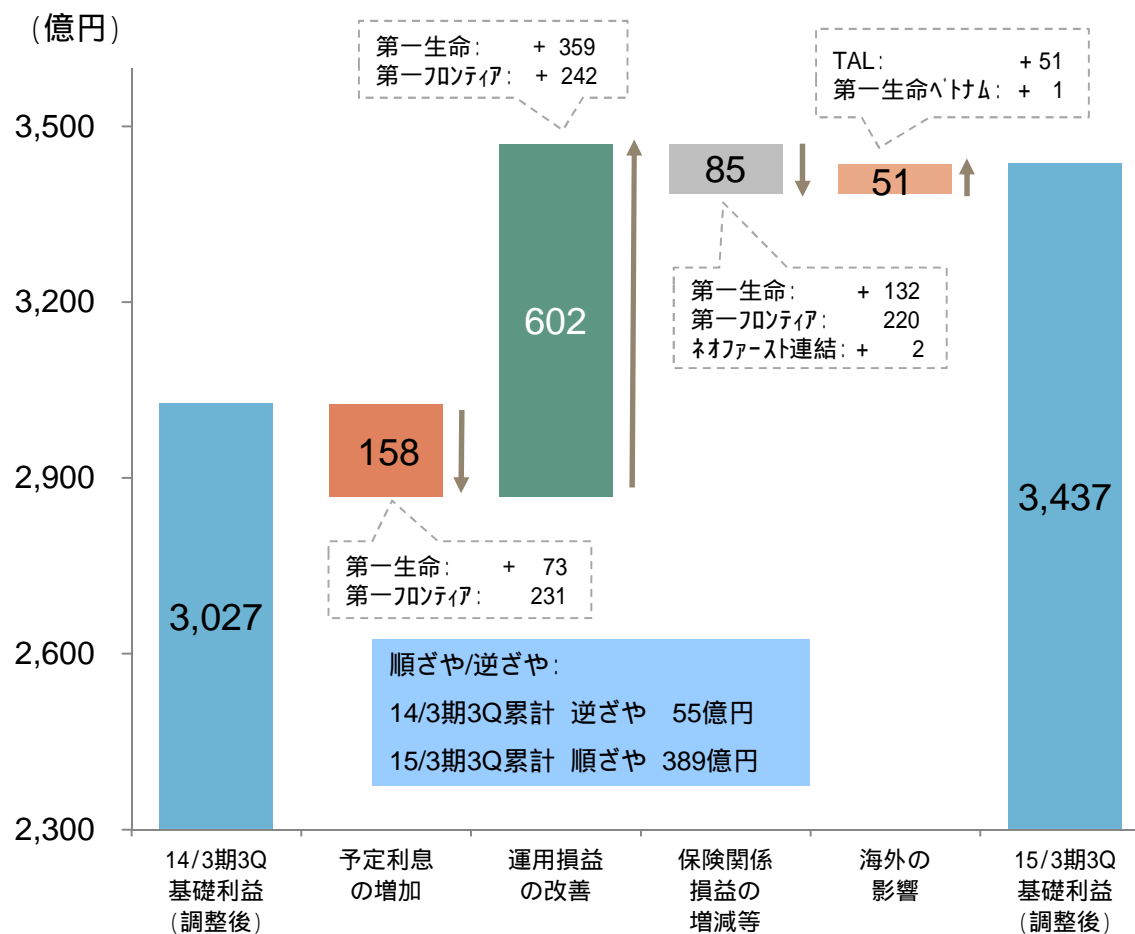
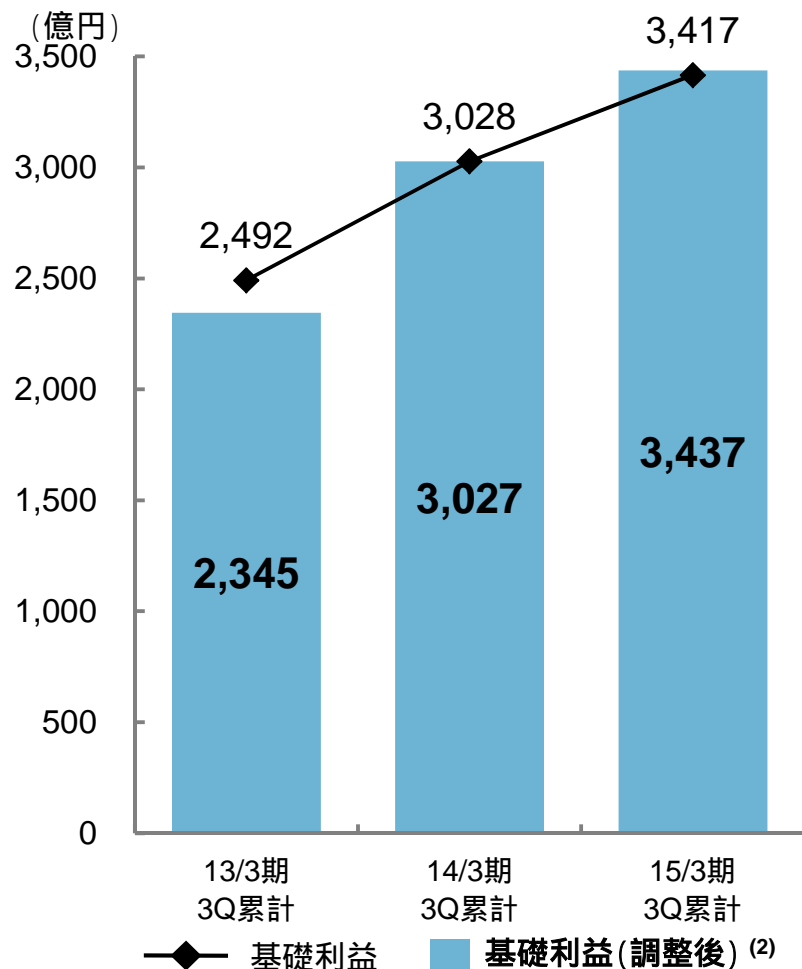


(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。13/3末、14/3末、14/12末の第一生命ベトナムの保有契約年換算保険料はそれぞれ75億円、108億円、132億円です。

(2) 14/12末のネオファースト生命の保有契約年換算保険料は37億円(うち第三分野は8億円)です。尚、ネオファースト生命の実績は、14/12末のみを記載しています。

## 基礎利益 (1)

## 基礎利益 (調整後) の変動要因 (1)(2)



(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命(2014年7-12月のみ)の基礎利益、TALの修正利益(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺。

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額

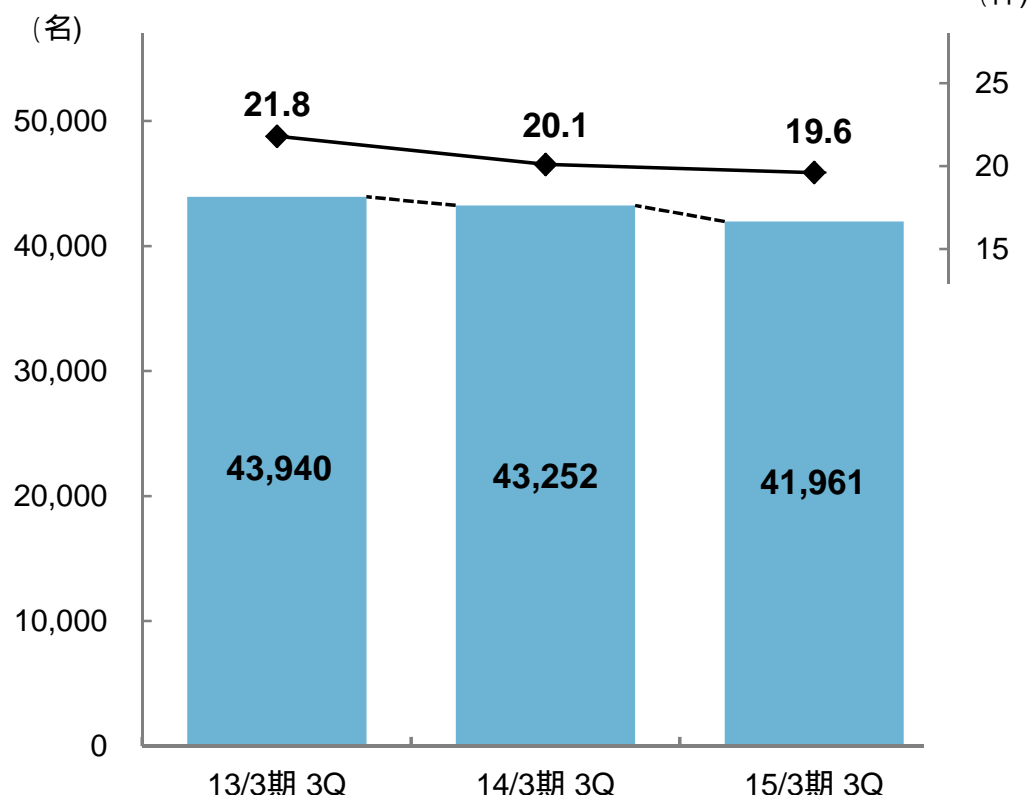
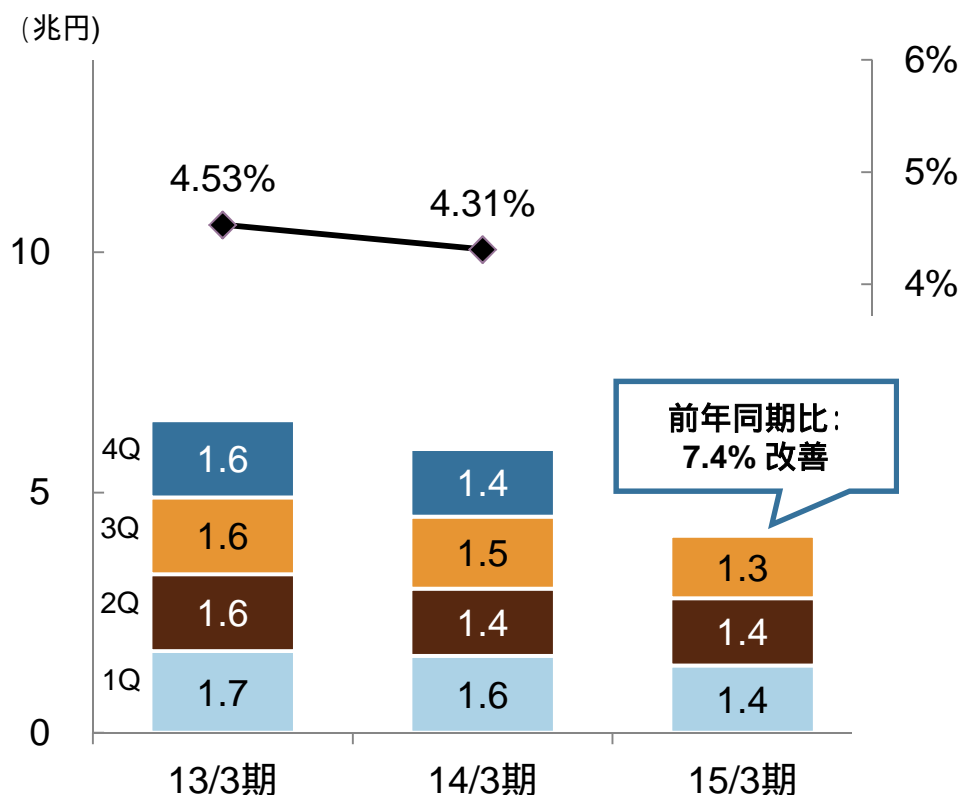
# 第一生命単体業績 – 解約失効高、営業職員数

一生涯のパートナー

第一生命

## 解約失効高 (個人保険・個人年金)

## 営業職員数および生産性 (1)(2)



◆ 解約失効率 (右軸)

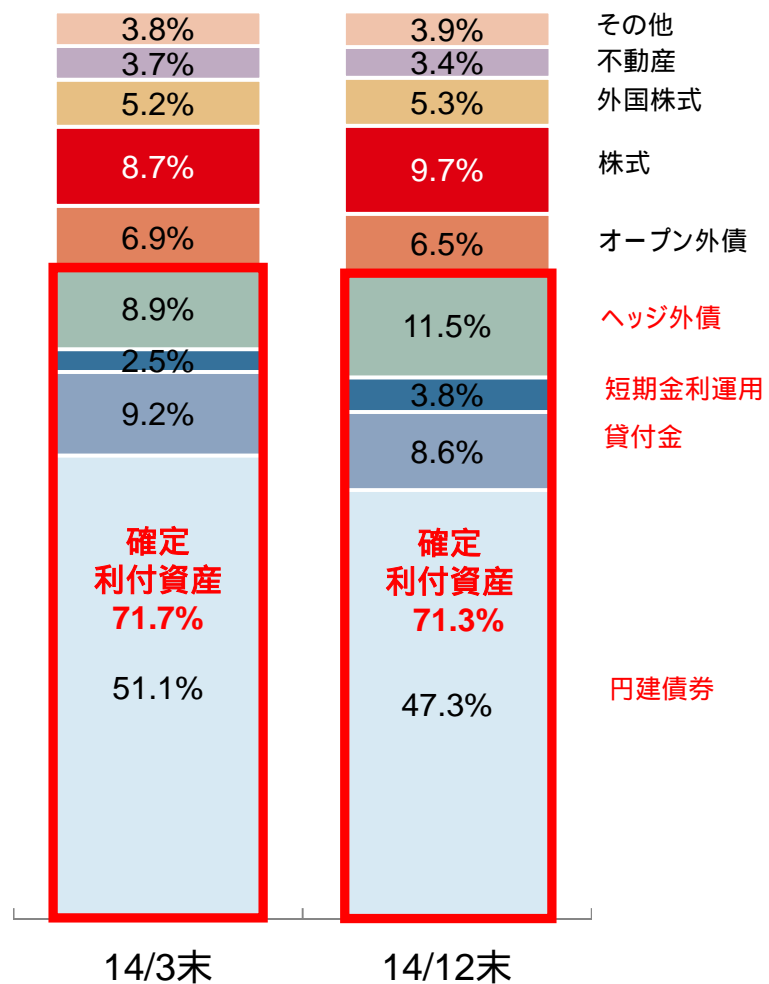
■ 営業職員数

◆ 一人あたり新契約件数 (右軸)

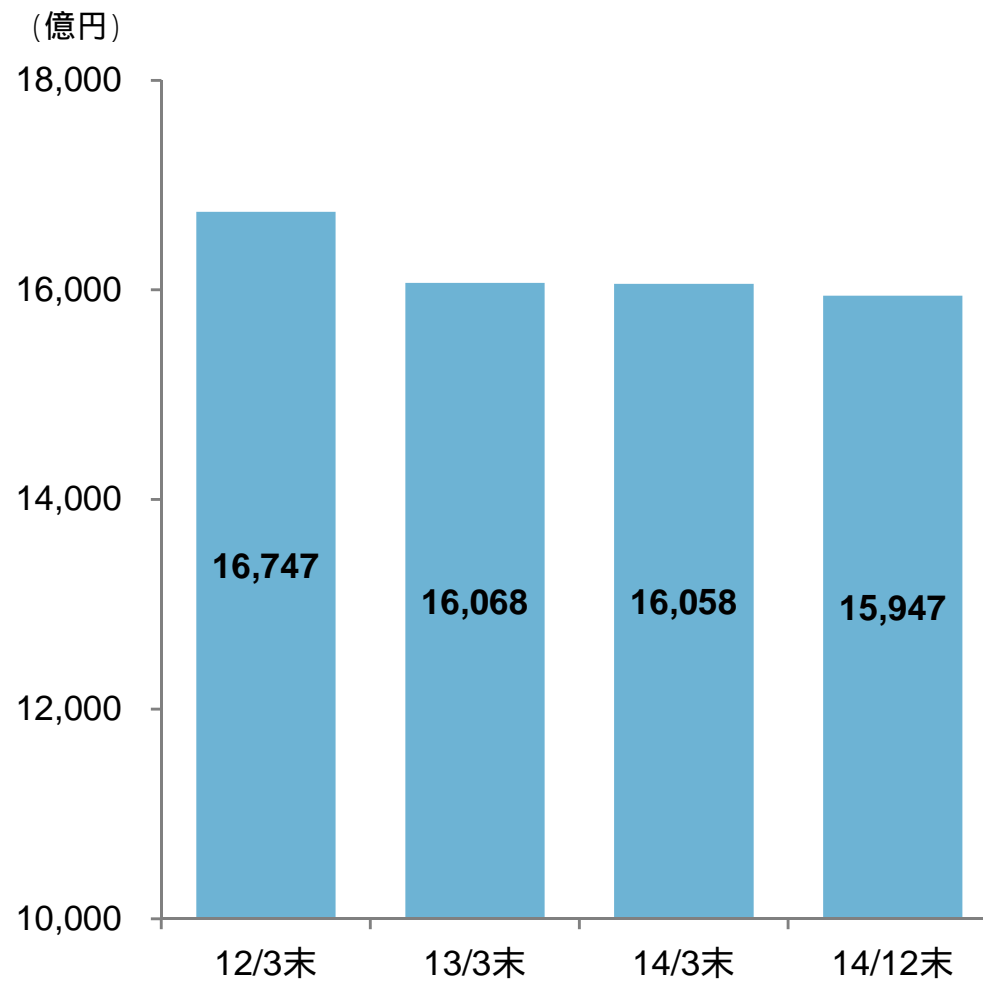
(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。  
 (2) 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

# 第一生命単体業績 - 一般勘定資産運用の状況

## 資産の構成 (一般勘定) (1)



## 国内株式の簿価 (2)



(1) 貸借対照表価額ベース

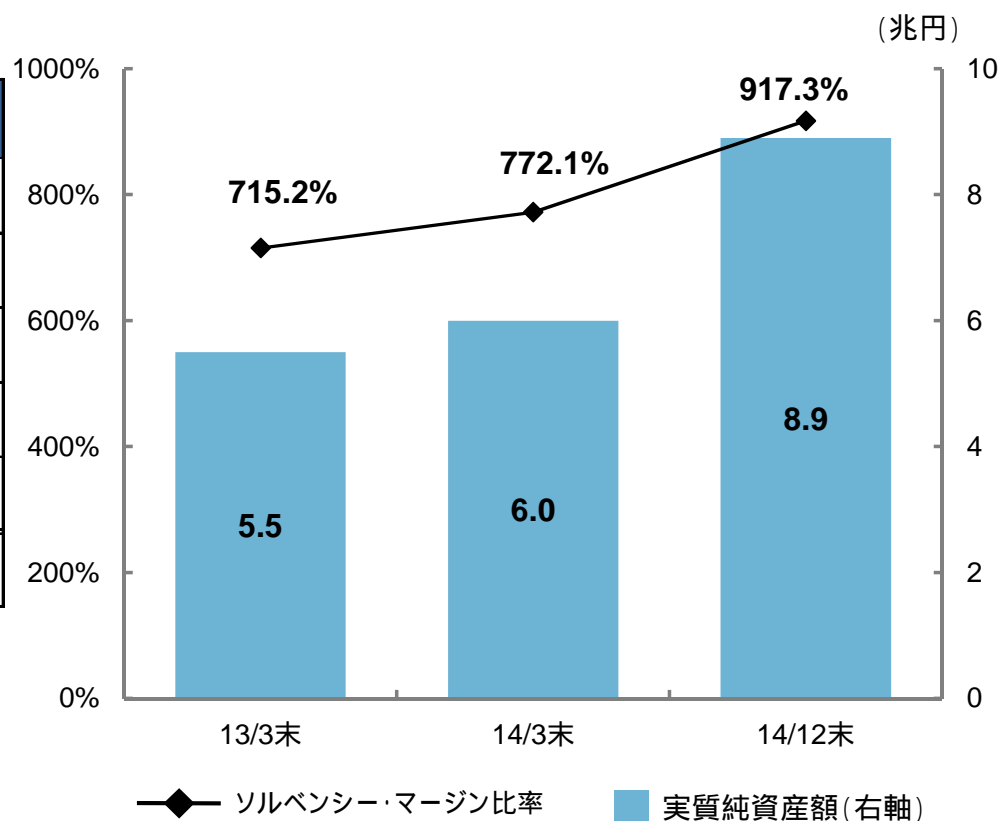
(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

## 含み損益(一般勘定)

## ソルベンシー・マージン比率 および実質純資産額

(億円)

	14/3末	14/12末	増減
有価証券	30,056	53,491	+23,434
国内債券	13,813	24,611	+10,798
国内株式	9,318	15,184	+5,866
外国証券	6,422	12,960	+6,537
不動産	482	672	+189
その他共計	30,505	54,947	+24,442



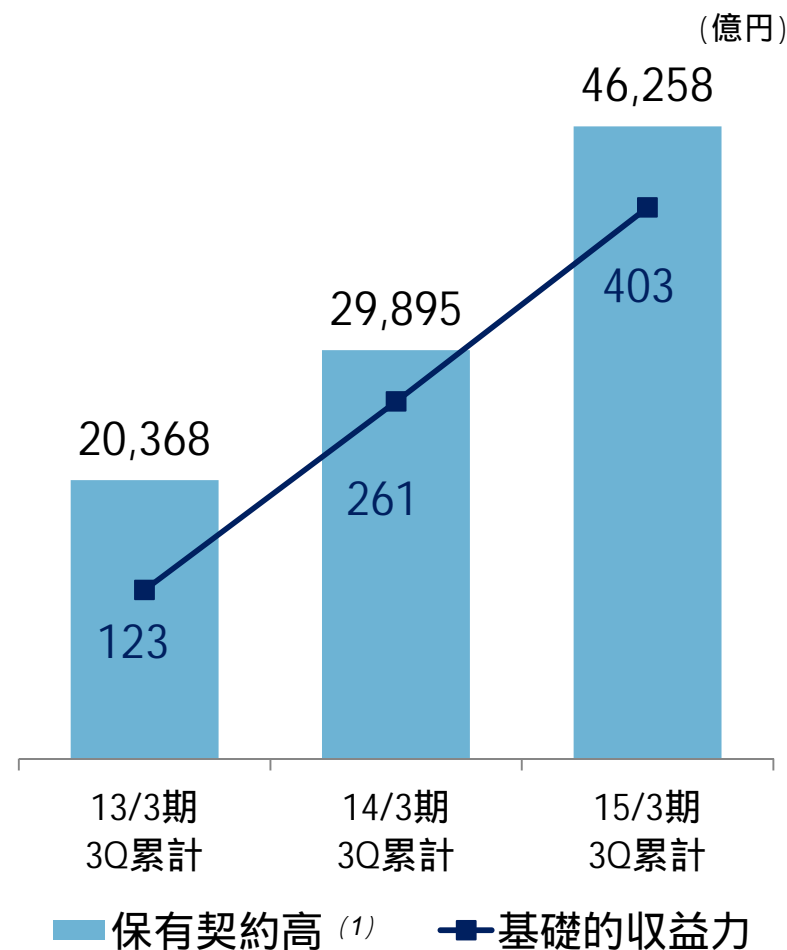
<参考> 連結ソルベンシー・マージン比率:  
2014年12月末 907.7%

収支の状況

(億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計
経常収益	10,364	16,877
うち保険料等収入	8,990	14,185
うち変額商品	2,363	1,458
うち円建定額商品	2,815	2,164
うち外貨建定額商品	2,930	9,187
うち資産運用収益	1,374	2,692
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	-
経常費用	10,489	16,953
うち責任準備金等繰入額	7,254	12,421
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額( は戻入)(B)	14	26
うち市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額( は戻入)(C)	13	275
うち危険準備金繰入額(D)	129	133
うち資産運用費用	360	71
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(E)	260	58
経常利益( は損失)	124	75
純利益( は損失)	130	90
(参考) 基礎的収益力 = 純利益 - (A) + (B) + (C) + (D) + (E)	261	403

保有契約高と基礎的収益力



(1) 保有契約高は各期間の末日時点

## 主要業績

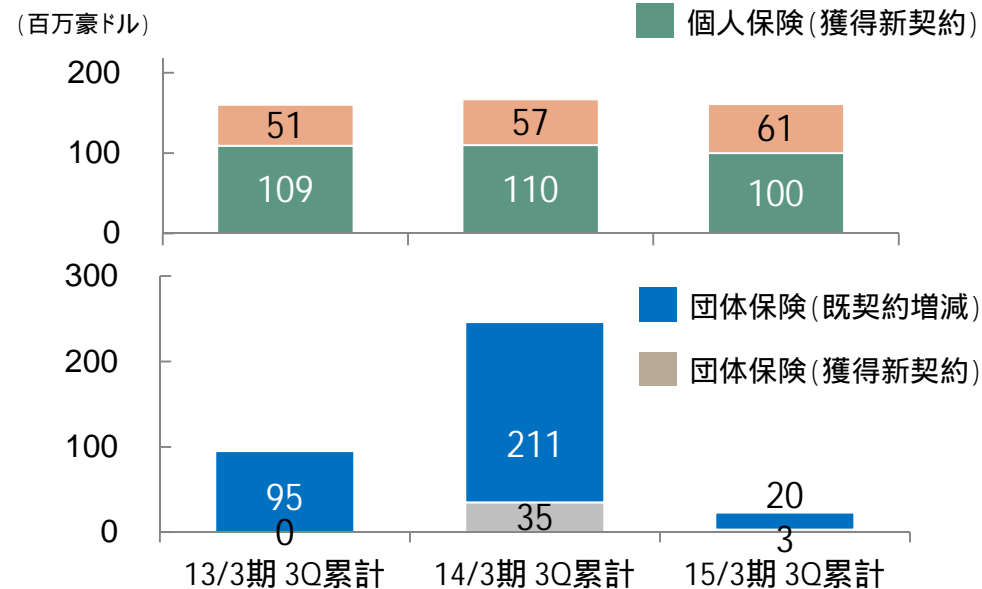
	(百万豪ドル)		
	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	前年 同期比
経常収益 (2)	2,062	2,362	+ 15%
うち保険料等収入 (2)	1,688	2,067	+ 23%
経常利益 (2)	85	150	+ 75%
純利益(A) (2)	52	109	+ 111%
修正額(B)	31	6	
うち負債割引率の変化	8	20	
うち償却負担	15	16	
その他	7	11	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	84	116	+ 39%

### <参考>

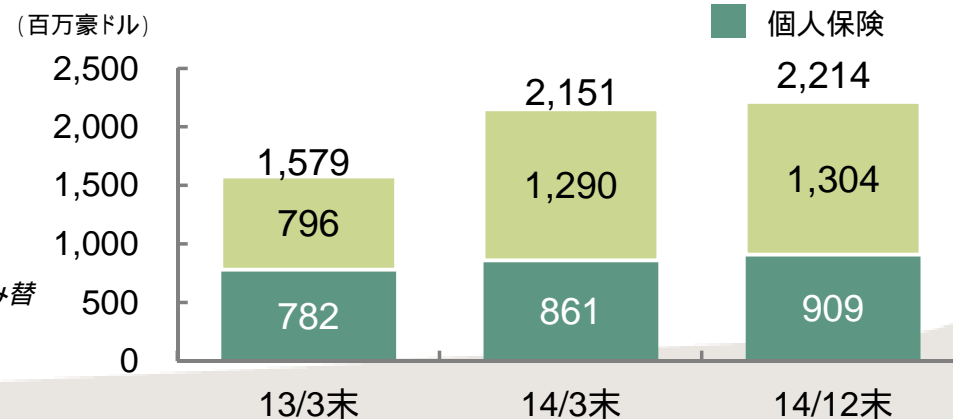
	13/12末	14/12末
為替レート(豪ドル)	93.24円	98.07円

- (1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値  
 (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

## 新契約年換算保険料



## 保有契約年換算保険料



# 第一生命グループ業績予想 - 2015年3月期業績予想

- 連結純利益は通期業績予想を上回る進捗も、以下の理由で通期の業績予想を据え置き
  - 法人実効税率の引き下げにより繰延税金資産の取り崩しが見込まれる
  - 世界的な金利低下や欧州債務危機の再燃懸念等、金融市場環境を見極める必要がある

(億円)

	14/3期	15/3期(予) 2014/11/14 発表予想	増減
<b>経常収益</b>	<b>60,449</b>	<b>64,090</b>	<b>+ 3,640</b>
第一生命単体	43,846	44,000	+ 153
第一フロンティア	14,178	17,370	+ 3,191
TAL (百万豪ドル)	2,849	3,440	+ 590
<b>経常利益</b>	<b>3,047</b>	<b>3,180</b>	<b>+ 132</b>
第一生命単体	3,076	3,100	+ 23
第一フロンティア	158	30	+ 128
TAL (百万豪ドル)	139	130	9
<b>当期純利益</b>	<b>779</b>	<b>800</b>	<b>+ 20</b>
第一生命単体	855	790	65
第一フロンティア <sup>(1)</sup>	152	60	+ 92
TAL (百万豪ドル)	90	90	+ 0
<b>1株当たり配当金</b>	<b>20円</b>	<b>25円</b>	<b>+5円</b>

(参考: 基礎利益)

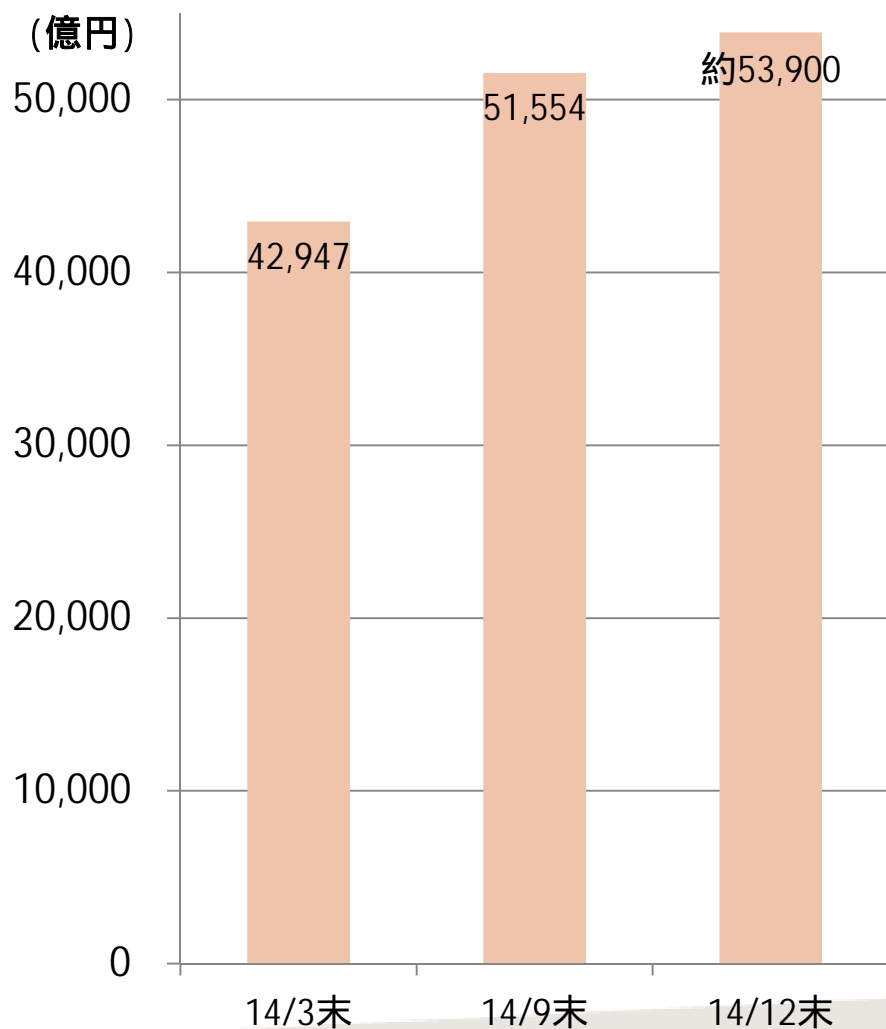
第一生命グループ	4,461	4,400程度	61
第一生命単体	3,998	4,000程度	+ 1

(1) 持分考慮後(2014年3月期)

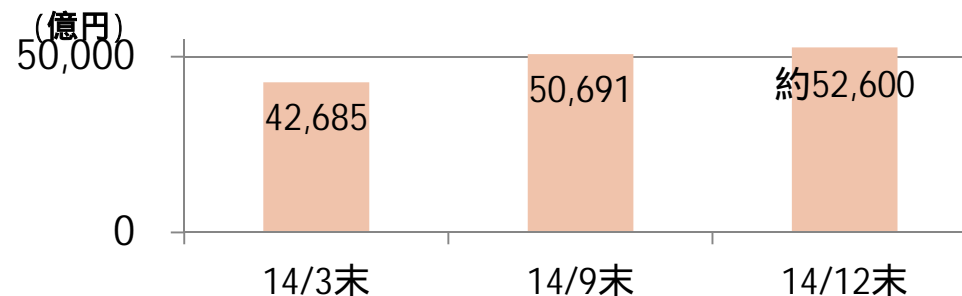


■ 良好な経済環境、新契約の獲得により、グループ各社ともにEVが増加

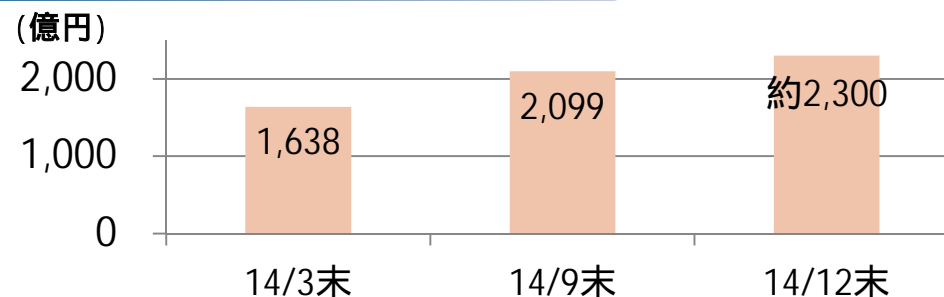
## 第一生命グループのEEV(試算値)



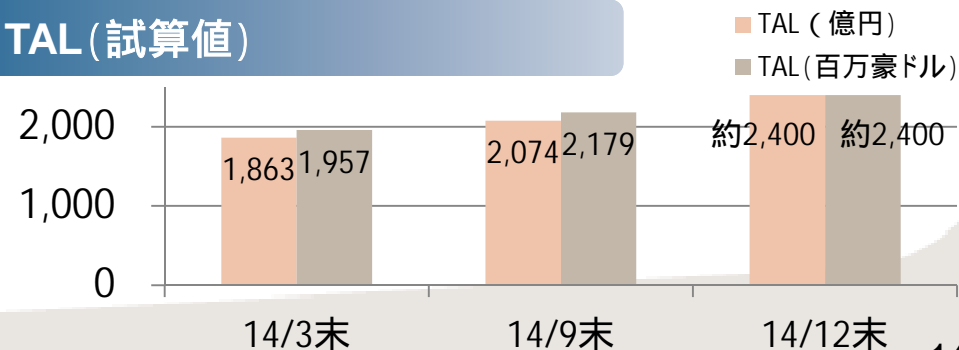
## 第一生命(単体、試算値)



## 第一フロンティア生命(試算値)



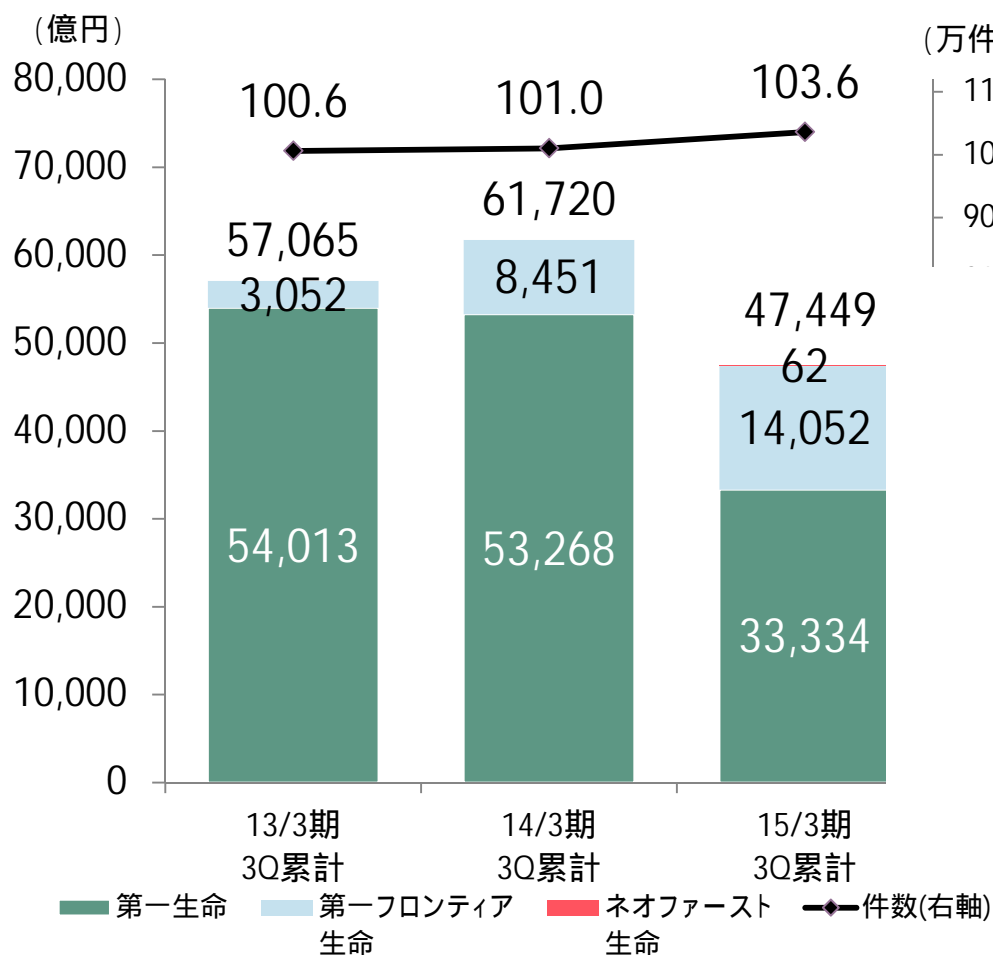
## TAL(試算値)



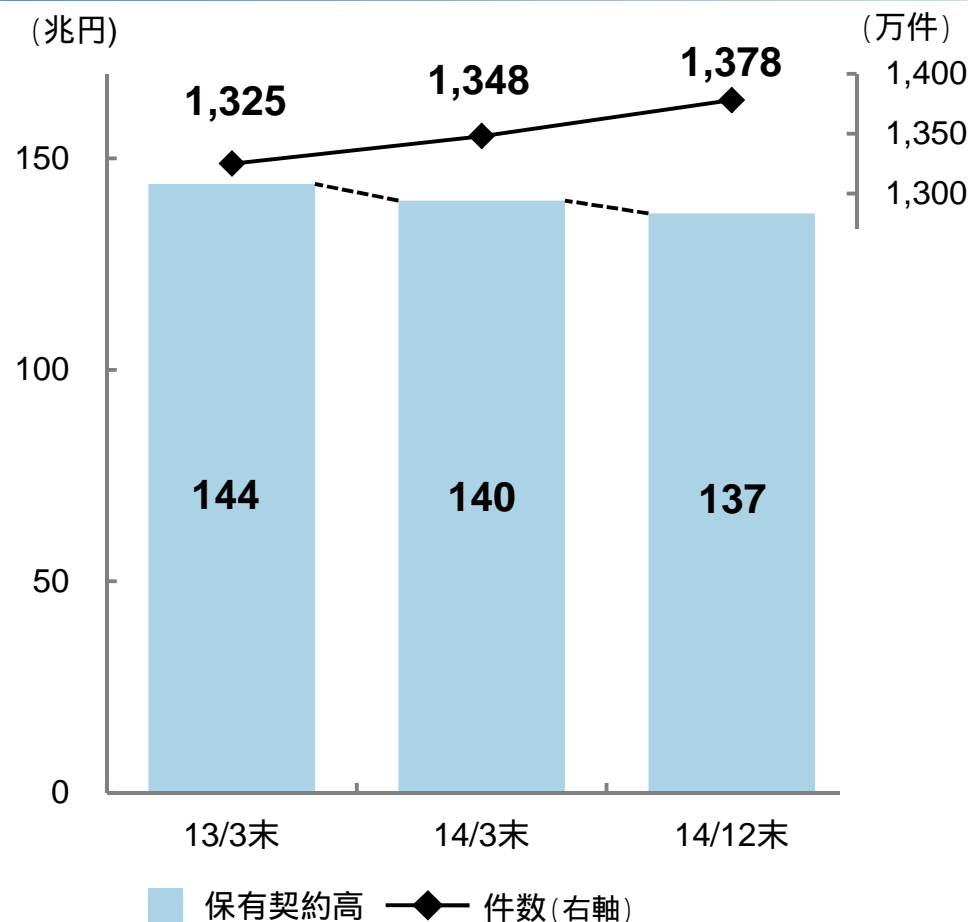
## 参考データ

# 参考データ - 契約高の動向 (個人保険・個人年金保険)

## 新契約高 (1)



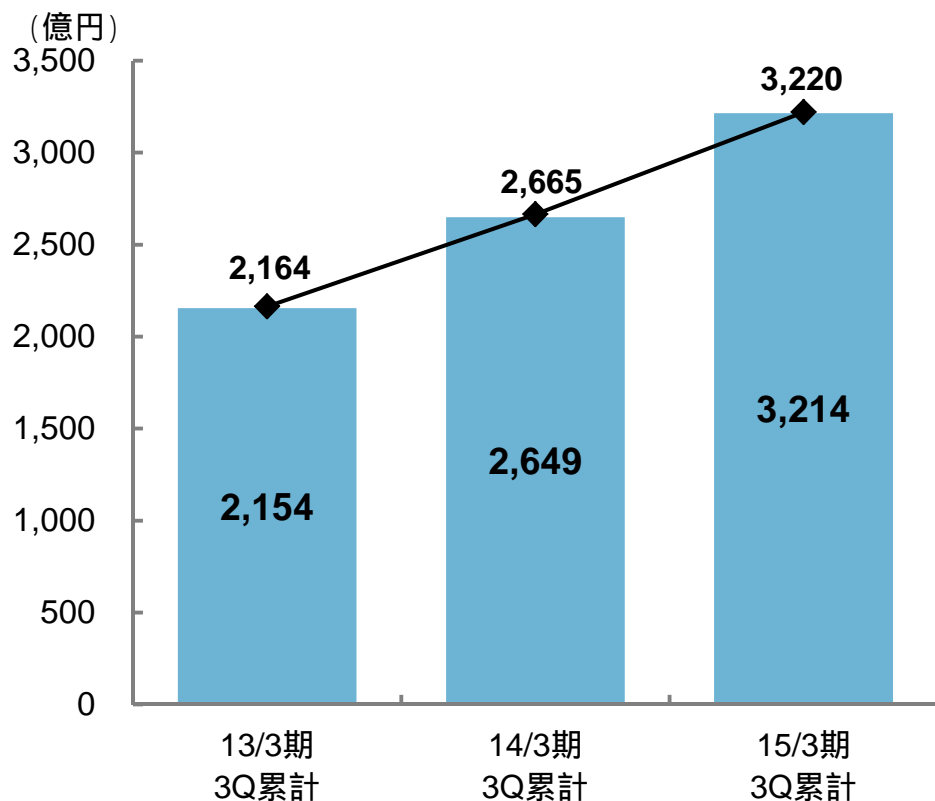
## 保有契約高 (1)



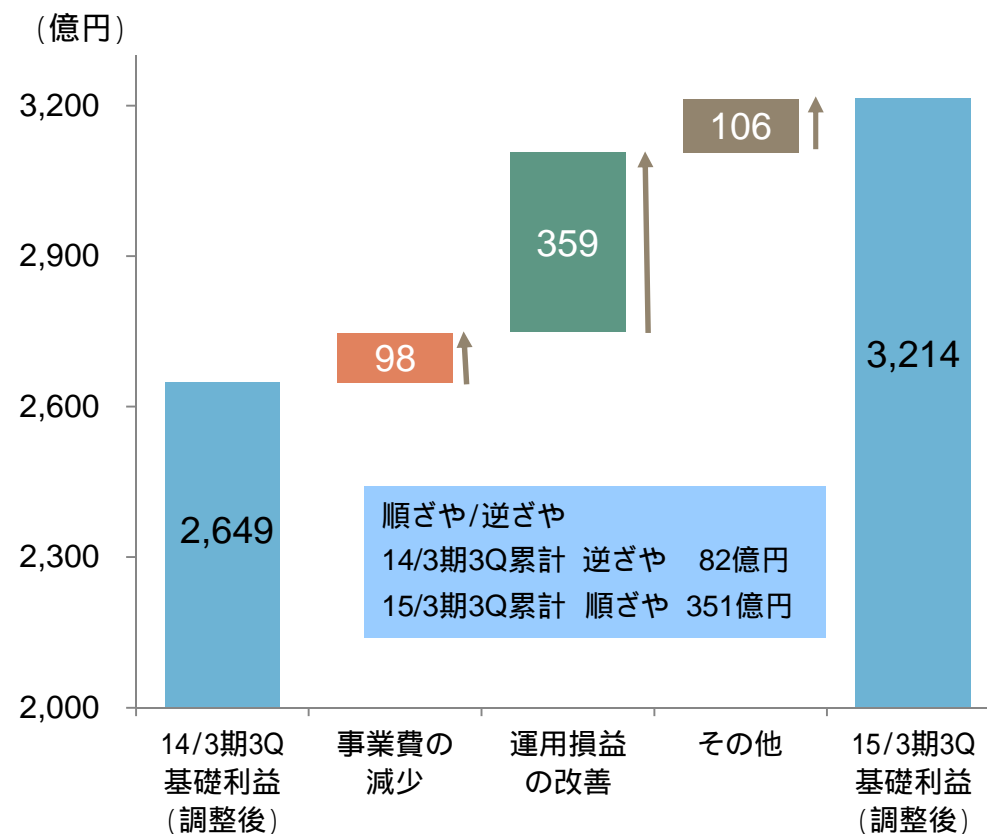
- (1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の合算ベース。ネオファースト生命の新契約高は、15/3期2Q・3Q(7-12月)のみを記載し、保有契約高は14/12末のみを記載しています。
- (2) 契約高とは、生命保険会社が保障する金額の総合計額です。当社が成長分野の一つとして取り組む医療・介護等の第三分野商品は、死亡保障を主とする従来の第一分野商品と比べ、契約高が一般的に低くなります。

## 基礎利益

## 基礎利益(調整後)の変動要因(1)



◆ 基礎利益    ■ 基礎利益(調整後) (1)

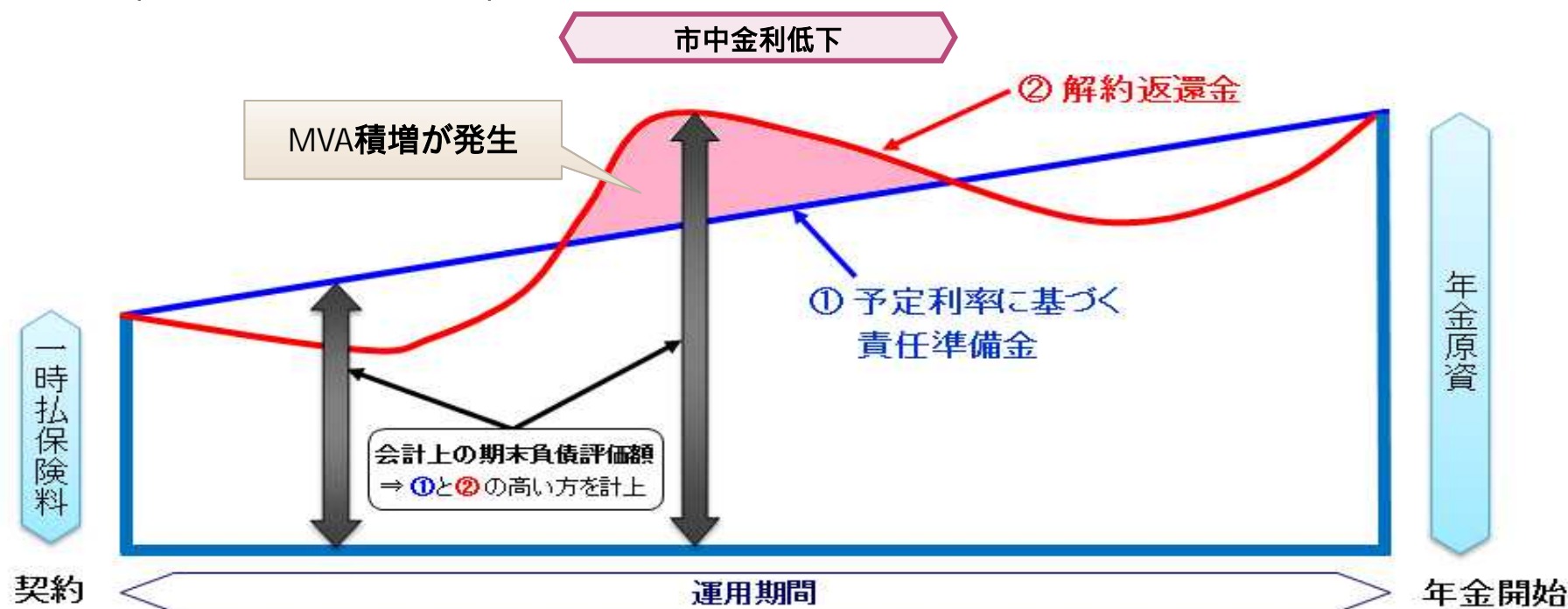


(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額

# 第一フロンティア生命の保険商品に係る市場価格調整について

- 第一フロンティア生命(DFL)の保険商品には、解約時に市中金利変動に伴う運用資産の価値変動を解約返還金額に反映させる「市場価格調整(MVA)」を設定するものがある
- MVA付き商品の会計上の負債は、「解約返還金」と「予定利率により定められた責任準備金」の大きい方を計上する
  - 負債側で、金利低下により「解約返還金」が「責任準備金」を上回る場合、責任準備金の積増しが発生。
- 資産側の債券価格の上昇分(含み益)は損益計算書に反映されないため、会計上は収支が悪化
  - あくまで会計上の一時的な評価の変動。解約時に債券が売却され、含みが実現されるので、実質的な損失ではない。また金利が上昇に転じれば積み増し分は取り崩す。

【イメージ図(MVA付個人年金の例)】



# 参考データ - 第一生命(単体)財務諸表(要約)

一生のパートナー

第一生命

## 損益計算書<sup>(1)</sup>

(億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	増減
経常収益	32,684	34,588	+1,904
保険料等収入	21,009	23,166	+2,157
資産運用収益	9,295	8,852	443
うち利息・配当金等収入	5,560	5,898	+337
うち有価証券売却益	1,738	1,314	424
うち特別勘定資産運用益	1,759	1,465	293
その他経常収益	2,379	2,569	+190
経常費用	30,346	31,785	+1,439
うち保険金等支払金	17,792	19,797	+2,005
うち責任準備金等繰入額	4,822	4,800	22
うち資産運用費用	1,546	1,201	344
うち有価証券売却損	490	200	290
うち有価証券評価損	8	5	2
うち金融派生商品費用	400	261	139
うち事業費	3,025	2,926	98
経常利益	2,338	2,803	+465
特別利益	23	29	+5
特別損失	289	183	105
契約者配当準備金繰入額	702	784	+81
税引前純利益	1,370	1,865	+495
法人税等合計	541	551	+10
純利益	828	1,313	+484

## 貸借対照表

(億円)

	14/3末	14/12末	増減
資産の部合計	340,288	365,612	+25,324
うち現預金・コール	9,084	14,210	+5,125
うち買入金銭債権	2,758	2,689	68
うち有価証券	280,051	299,159	+19,107
うち貸付金	30,231	30,464	+233
うち有形固定資産	12,155	11,941	214
うち繰延税金資産	111	-	111
負債の部合計	320,569	332,063	+11,493
うち保険契約準備金	297,440	302,088	+4,648
うち責任準備金	291,992	296,726	+4,733
うち危険準備金	5,310	5,445	+135
うち退職給付引当金	4,071	3,964	107
うち価格変動準備金	1,164	1,269	+105
うち繰延税金負債	-	4,045	+4,045
純資産の部合計	19,718	33,549	+13,830
うち株主資本合計	6,962	10,854	+3,892
うち評価・換算差額等合計	12,749	22,686	+9,936
うちその他有価証券評価差額金	13,158	22,531	+9,372
うち土地再評価差額金	383	385	2

(1) 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

# 参考データ - 第一フロンティア生命財務諸表(要約)

一生のパートナー

第一生命

## 損益計算書

(億円)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	増減
経常収益	10,364	16,877	+6,512
うち保険料等収入	8,990	14,185	+5,194
うち資産運用収益	1,374	2,692	+1,318
経常費用	10,489	16,953	+6,464
うち保険金等支払金	2,499	3,677	+1,177
うち責任準備金等繰入額	7,254	12,421	+5,166
うち資産運用費用	360	71	289
うち事業費	339	703	+363
経常利益(は損失)	124	75	+48
特別損益	5	14	8
税引前純利益(は損失)	129	89	+40
法人税等合計	1	0	0
純利益(は損失)	130	90	+40

## 貸借対照表

(億円)

	14/3末	14/12末	増減
資産の部合計	33,924	46,829	+12,905
うち現預金・コール	780	1,342	+561
うち有価証券	32,206	44,082	+11,875
負債の部合計	33,440	46,184	+12,743
うち保険契約準備金	32,883	45,304	+12,421
うち責任準備金	32,858	45,268	+12,409
うち危険準備金	1,072	1,206	+133
純資産の部合計	483	645	+162
うち株主資本合計	403	313	90
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	1,446	1,536	90

損益計算書<sup>(1)(2)</sup>

(百万豪ドル)

	14/3期 3Q累計	15/3期 3Q累計	増減
経常収益	2,062	2,362	+300
保険料等収入	1,688	2,067	+379
資産運用収益	244	193	51
その他経常収益	129	101	28
経常費用	1,976	2,212	+235
保険金等支払金	1,153	1,355	+202
責任準備金等繰入額	333	313	20
資産運用費用	24	28	+4
事業費	401	433	+32
その他経常費用	64	81	+16
経常利益	85	150	+64
法人税等	33	40	+6
純利益	52	109	+57
修正利益 (Underlying profit)	84	116	+32

貸借対照表<sup>(1)(2)</sup>

(百万豪ドル)

	14/3末	14/12末	増減
資産の部合計	6,086	6,544	+458
現預金	676	893	+217
有価証券	2,852	2,964	+112
有形固定資産	0	0	+0
無形固定資産	1,271	1,243	28
のれん	791	786	4
その他の無形固定資産	480	457	23
再保険貸	72	120	+47
その他資産	1,213	1,321	+108
負債の部合計	4,184	4,532	+348
保険契約準備金	2,960	3,215	+254
再保険借	385	368	17
その他負債	721	840	+118
繰延税金負債	117	108	8
純資産の部合計	1,901	2,011	+109
株主資本合計	1,901	2,011	+109
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	270	380	+109

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)



# 参考データ - 金融市場への感応度(2014年12月末、第一生命単体)

	感応度 <sup>(1)</sup>	含み損益ゼロ水準 <sup>(2)</sup>
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2014年3月末:1,700億円)	日経平均株価 ¥8,800 (2014年3月末: ¥9,200)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,600億円の増減 (2014年3月末:2,400億円)  その他有価証券区分:300億円の増減 (2014年3月末:300億円)	10年国債利回り 1.2% (2014年3月末:1.2%)  その他有価証券区分:1.4% (2014年3月末:1.4%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 260億円の増減 (2014年3月末:280億円)	ドル/円 \$1 = ¥95 (2014年3月末: ¥89)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロとなる水準

## 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。